

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	1	しまにしごとをつくり、しまで安心して働けるようにする	
施策名	(ア)	地域を支える産業の競争力強化	
	②	農林業の競争力強化	
	1	生産対策	
事業名	①	生産組織活動助成事業	
担当課名	農林課	所属長名	堤 田 勝
関係課名			

1. 事業の目的						
○地場野菜等の地域内供給を促進し、消費者との交流を通じ、地域の活性化を図る団体の組織強化を促進する。						
2. 事業の概要			3. 実施内容（取組状況）			
○地場野菜等の地産地消を積極的に行っている団体の組織強化と地域の活性化を促進するため、生産組織が実施する新商品の開発や研究、会議開催等の活動に対し定額補助する事業。			○以下の生産組織に対して助成を行った。 ・花野果農産加工グループ 40千円 ・番嶽ふれあい市場出荷組合 160千円 ・JA有川朝市研究会 80千円 ・JA上五島農産加工部 40千円 ・JA女性部有川支部 120千円 ・上五島農山村活性化協議会 143千円			
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	583千円					583千円
4. 事業における成果			5. 事業における課題			
○各補助金申請団体へ助成し、地産地消及び地域の活性化を図ることができた。			○各組織の高齢化が進んでおり、年々会員が減少傾向の団体があるので、次世代を担う会員増が必要である。			
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○普及活動は各団体へ任せているが、なかなか会員の拡大につなげていない。今後、世代交代して取り組みを継承する団体等へ助成金以外の面でも指導・助言をしていく。また、企業等を退職したばかりの元気な世代を積極的に取り組めるような仕組み作りが必要である。						

担当課評価	B	○農業振興に必要な補助金であることから、今後も継続して事業を推進する必要がある。
委員評価	B	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	1	しまにしごとをつくり、しまで安心して働けるようにする	
施策名	(ア)	地域を支える産業の競争力強化	
	②	農林業の競争力強化	
	1	生産対策	
事業名	②	作付拡大対策事業	
担当課名	農林課		所属長名 堤 田 勝
関係課名			

1. 事業の目的						
○復元農地への作付拡大を推進し、生産意欲の向上を図る。						
2. 事業の概要			3. 実施内容（取組状況）			
○復元農地への作付拡大を推進し、生産意欲の向上を図るため、荒廃農地復元に係る経費を就農者へ助成する事業。 ○補助額：1万円/a			○復元農地への作付拡大を行った就農者に対し、以下のとおり助成を行った。 ・新魚目地区（立串）1.24 a 12千円 ・奈良尾地区（扇山）16 a 160千円			
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	172千円					172千円
4. 事業における成果			5. 事業における課題			
○荒廃農地の復元（17.24 a）が図られた。			○就農者の高齢化により耕作面積の拡大及び担い手不足による事業の推進が課題である。			
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○新規就農者の確保や担い手の育成に向け、関係機関と連携を図り継続的に就農支援を実施していく。						

担当課評価	B	○農業振興に必要な補助金であることから、今後も継続して事業を推進する必要がある。
委員評価	B	○2次評価のとおり

評価基準	A	K P I 達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	K P I 達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	K P I 達成のために、要因の分析を要する。
	D	K P I 達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	1	しまにしごとをつくり、しまで安心して働けるようにする	
施策名	(ア)	地域を支える産業の競争力強化	
	②	農林業の競争力強化	
	1	生産対策	
事業名	③	近代化施設等整備事業	
担当課名	農林課	所属長名	堤 田 勝
関係課名			

1. 事業の目的						
○販売用作物の施設化や土づくり対策等による向上、農家の増収を図る。						
2. 事業の概要			3. 実施内容（取組状況）			
○販売用作物の施設化や土づくり対策等による向上、農家の増収を図ることを目的に、施設整備等に対して助成をする事業。 ○補助率：1/2以内			○施設整備等行った農家に対し、以下のとおり助成を行った。 ・管理機 10台 545千円 ・ハウス新設 1棟 53千円 ・ハウスビニール張替 9戸 163千円 ・トンネル支柱 1戸 8千円 ・堆肥 15,424袋 1,542千円			
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	2,311千円					2,311千円
4. 事業における成果			5. 事業における課題			
○施設整備や土づくりへ助成することで、販売農家の生産意欲及び技術向上を図り、販売農家の育成に繋がった。			○販売農家の高齢化に伴い、生産量の減少などで地域全体の農産物販売が年々減少している。担い手の育成が課題である。			
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○野菜栽培等講習会を通して、担い手の育成に取り組む。						

担当課評価	B	○農業振興に必要な補助金であることから、今後も継続して事業を推進する必要がある。
委員評価	B	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	1	しまにしごとをつくり、しまで安心して働けるようにする	
施策名	(ア)	地域を支える産業の競争力強化	
	②	農林業の競争力強化	
	1	生産対策	
事業名	④	有害鳥獣駆除推進対策事業	
担当課名	農林課	所属長名	堤 田 勝
関係課名			

1. 事業の目的						
○有害鳥獣の被害予防のためにワイヤーメッシュ、電気牧柵を導入するとともに、有害鳥獣駆除のための狩猟免許取得に係る諸経費を助成することにより、従事者を増員し、被害の軽減を図る。						
2. 事業の概要			3. 実施内容（取組状況）			
○被害防止対策 ・電気牧柵、ワイヤーメッシュ ・補助率1/2以内 ○狩猟免許取得推進対策 ・新規免許取得 定額補助 ・狩猟登録経費 狩猟税及び狩猟登録手数料相当額補助			○電気牧柵 1件 65千円 ○ワイヤーメッシュ柵 66件 2,239千円 ○免許取得 4人 137千円 ○登録経費 4人 48千円 ○その他有害鳥獣対策実施隊等 4,907千円			
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	7,396千円					7,396千円
4. 事業における成果			5. 事業における課題			
○有害鳥獣による被害の軽減が図られた。			○電気牧柵、ワイヤーメッシュとも経年劣化等により更新時期を迎えている。			
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○現地での現物確認により更新を認める。						

担当課評価	B	○鳥獣被害の被害予防のため、今後も継続して事業を推進する必要がある。
委員評価	B	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	1	しまにしごとをつくり、しまで安心して働けるようにする	
施策名	(ア)	地域を支える産業の競争力強化	
	②	農林業の競争力強化	
	1	生産対策	
事業名	⑤	鳥獣被害防止総合対策事業	
担当課名	農林課	所属長名	堤 田 勝
関係課名			

1. 事業の目的						
○有害鳥獣による農作物被害の軽減を図る。						
2. 事業の概要				3. 実施内容（取組状況）		
○有害鳥獣駆除者に対して捕獲報奨金を交付 【銃器の場合】 ・イノシシ11,000円/頭、鹿10,000円/頭 【捕獲器（わなを含む）の場合】 ・イノシシ10,000円/頭、鹿9,000円/頭 【幼獣（イノシシ、鹿）】 一律3,000円を減額				○捕獲報奨金 ・イノシシ捕獲 2,253頭 22,629千円 ・シカ捕獲 3,124頭 28,616千円		
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	51,245千円	20,553千円	5,603千円		2,688千円	22,401千円
4. 事業における成果				5. 事業における課題		
○有害鳥獣5,377頭を駆除でき、農作物被害の軽減を図ることができた。				○直近3ヵ年の捕獲頭数が5,000頭前後で推移し、多額の経費が必要であり、財源を確保するのが難しくなっている。		
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○国・県に歳入確保の要望をしていく。						

担当課評価	B	○有害鳥獣から農作物、土地を守るため、今後も継続して事業を推進する必要がある。
委員評価	B	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	1	しまにしごとをつくり、しまで安心して働けるようにする	
施策名	(ア)	地域を支える産業の競争力強化	
	②	農林業の競争力強化	
	1	生産対策	
事業名	⑥	「カンコロの島」再生事業【新規】	
担当課名	農林課	所属長名	堤 田 勝
関係課名			

1. 事業の目的						
○カンコロの安定供給体制の強化を図る。						
2. 事業の概要				3. 実施内容（取組状況）		
○カンコロ製造工場を整備することにより、カンコロの安定供給体制を強化し、特産品「カンコロ餅」を全国へ発信する事業。				○事業主体として見込まれるＪＡ及び振興局と協議を行ったが、年間を通じた施設の稼働や作業行程の精査等について、今後、継続的な協議を実施していくことを確認した。		
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	0千円					0千円
4. 事業における成果				5. 事業における課題		
○特になし。				○年間を通じた施設の稼働や作業行程の精査など、施設の運営上の課題のほか、原料の供給体制の課題などもあり、事業の取り組み自体が難しい状況である。		
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○農業振興には必要な事業であるが、運営上及び原料の供給体制の確保など、課題が山積しており、事業の取り組み自体が難しいが、引き続き、関係機関と協議していくことしかできない。						

担当課評価	D	○農業振興には必要であるが、推進するにはＪＡの協力が不可欠。しかしながら、課題が山積しており、事業の取り組み自体が難しい状況である。
委員評価	D	○カンコロの原料が足りないという現状があり、農業振興と絡めて、芋の生産を戦略的に考えていただきたい。

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	1	しまにしごとをつくり、しまで安心して働けるようにする	
施策名	(ア)	地域を支える産業の競争力強化	
	②	農林業の競争力強化	
	1	生産対策	
事業名	⑦	家畜防疫対策事業	
担当課名	農林課	所属長名	堤 田 勝
関係課名			

1. 事業の目的						
○家畜の伝染性疾病的の発生を防止することにより、畜産の振興を図る。						
2. 事業の概要				3. 実施内容（取組状況）		
○家畜（牛）の予防注射に対する助成を行う。				○平成28年度助成実績 ・IBR（6混） 47頭 ・イバラキ病 14頭 ・異常産 70頭		
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	269千円					269千円
4. 事業における成果				5. 事業における課題		
○ワクチンの摂取により、家畜伝染性の疾病が出なかった。				○特になし。		
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○関係者の話を聞きながら家畜伝染性疾病的の予防に取り組む。						

担当課評価	B	○畜産振興に必要な補助金であり、今後も継続して事業を推進していく必要がある。
委員評価	B	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	1	しまにしごとをつくり、しまで安心して働けるようにする	
施策名	(ア)	地域を支える産業の競争力強化	
	②	農林業の競争力強化	
	1	生産対策	
事業名	⑧	優良雌牛導入事業	
担当課名	農林課	所属長名	堤 田 勝
関係課名			

1. 事業の目的						
○優良雌牛の導入を促進することにより、高価格の子牛生産を図る。						
2. 事業の概要				3. 実施内容（取組状況）		
○長崎県家畜導入事業（農協等有導入事業）による優良雌牛の導入、優良雌牛の自家保留に対し助成することにより、経営の安定化を図る。				○優良雌牛導入費用の一部を助成した。 ・農協等有導入事業 12頭 1,400千円 ・自家保留 2頭 80千円		
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	1,480千円		1,200千円			280千円
4. 事業における成果				5. 事業における課題		
○自家保留・農協等有導入事業により、優良雌牛の導入がなされ、畜産農家の経営安定化が図れた。				○特になし。		
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○関係者の意見を聞きながら、優良雌牛の導入を推進する。						

担当課評価	B	○畜産振興に必要な補助金であり、今後も継続して事業を推進していく必要がある。
委員評価	B	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	1	しまにしごとをつくり、しまで安心して働けるようにする	
施策名	(ア)	地域を支える産業の競争力強化	
	②	農林業の競争力強化	
	1	生産対策	
事業名	⑨	子牛生産奨励事業	
担当課名	農林課		所属長名 堤 田 勝
関係課名			

1. 事業の目的						
○繁殖雌牛から産出される子牛に対して助成を行うことにより、生産率の向上を図る。						
2. 事業の概要				3. 実施内容（取組状況）		
○繁殖雌牛から産出される子牛に係る経費に対し補助（5,000円/頭）を行うことにより、経営の安定化を図る。				○平成28年度補助実績 ・子牛 42頭 210千円		
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	210千円					210千円
4. 事業における成果				5. 事業における課題		
○畜産農家の経営安定化が図られた。				○特になし。		
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○関係者の話を聞きながら推進したい。						

担当課評価	B	○畜産振興に必要な補助金であり、今後も継続して事業を推進していく必要がある。
委員評価	B	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	1	しまにしごとをつくり、しまで安心して働けるようにする	
施策名	(ア)	地域を支える産業の競争力強化	
	②	農林業の競争力強化	
	1	生産対策	
事業名	⑩	町有家畜導入事業	
担当課名	農林課	所属長名	堤 田 勝
関係課名			

1. 事業の目的						
○優良雌牛の導入による付加価値の高い子牛の生産を促進する。						
2. 事業の概要				3. 実施内容（取組状況）		
○基金から繁殖雌牛を購入し、生産者に一定期間無償で貸し付けた後、譲渡する。 ○貸付期間 7年以内（育成牛 4～18カ月齢） 6年以内（成牛 18カ月齢～6歳） ○譲渡価格 36万円（但し購入額が60万円を超えた場合は、その差額を加算）				○平成28年度 導入実績なし。 ○町有家畜導入事業基金へ積立 1,170千円		
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	1,170千円					1,170千円
4. 事業における成果				5. 事業における課題		
○付加価値の高い子牛の増産を促進するため、1,170千円（2頭導入分）を基金へ積み立てた。				○特になし。		
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○畜産農家と連携を密にし、事業を推進したい。						

担当課評価	B	○畜産振興に必要な補助金であり、今後も継続して事業を推進していく必要がある。
委員評価	B	○本事業は優良雌牛の導入促進が目的であり、導入実績をあげることが重要である。しっかり要因分析を行い、導入に向けた取り組みを行っていただきたい。

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	1	しまにしごとをつくり、しまで安心して働けるようにする	
施策名	(ア)	地域を支える産業の競争力強化	
	②	農林業の競争力強化	
	1	生産対策	
事業名	①①	森林整備地域活動支援事業	
担当課名	農林課	所属長名	堤 田 勝
関係課名			

1. 事業の目的						
○森林経営計画策定には多くの時間と労力が要するため、交付金として助成し、早期計画策定と間伐の実施につなげ、森林環境整備、間伐材の有効活用を目的としている。						
2. 事業の概要				3. 実施内容（取組状況）		
○町内の森林において、間伐等を実施するためには、森林経営計画を策定しなければならない。策定にあたり、該当森林の現地調査（林分、樹種、境界）を行い、個人所有者の同意等を得なければ森林経営計画の策定はできない。その現地調査や地区説明会その他関連する諸経費に対し、交付金として関係団体へ助成する。				○地域活動の実施に関する森林整備地域活動実施協定を締結し地域活動を実施した者に対し、3,049千円の交付金を交付した。 ○積算基礎森林面積：五島森林組合 133.74ha、 長崎県林業公社 10.00ha		
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	3,162千円	2,743千円	235千円			184千円
4. 事業における成果				5. 事業における課題		
○交付対象事業体は、経営計画を作成し、認定を受け、間伐事業を実施したことにより、森林環境整備及び間伐材の有効活用が図られた。				○森林所有者（不在者）の確認・承諾に時間を要しているため、計画策定がスムーズに実施できない。		
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○効果的な森林整備箇所の調査を行いながら、森林整備を進めていく。						

担当課評価	B	○ほぼ計画どおりに実施しており、今後も森林整備の推進に向け取り組まなければならない。
委員評価	B	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	1	しまにしごとをつくり、しまで安心して働けるようにする	
施策名	(ア)	地域を支える産業の競争力強化	
	②	農林業の競争力強化	
	1	生産対策	
事業名	⑫	全国椿サミット（つばき里山まつり）開催事業	
担当課名	農林課	所属長名	堤 田 勝
関係課名			

1. 事業の目的						
○新上五島町のつばきを中心とする林業を体験させる「つばき里山まつり」を開催することによって、賑わい創造による地域間交流と林業振興による地域の活性化を図り、本町産業経済の発展に寄与するものとし、平成30年の全国椿サミットに向けてプレイベントとして行い全国椿サミットに向けて改善を図る。また、「全国つばきサミット」においては全国へ椿の島をアピールする。						
2. 事業の概要				3. 実施内容（取組状況）		
○つばき里山まつり ・ステージイベント、講演、体験、 ・椿関連商品販売、五島うどん提供など ○全国つばきサミット ・国42市町村が加盟する全国椿サミット ・平成30年3月開催				○つばき里山まつりの開催(つばき里山まつり実行委員会補助金 1,189千円) 【ステージ】ヤドリギについての研究発表・太鼓演奏・キッズダンス・上五島神楽など 【アリーナ】書道パフォーマンス・茶席・林業経営相談・健康相談・ネイルアート体験・各種団体による椿関連商品の販売・つばき根・盆栽の展示など 【館内】シイタケ種駒打ち体験・つばきの絵画、俳句、短歌、写真の展示・うどん茶屋・メイクアップアドバイスなど を実施		
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	8,119千円					8,119千円
4. 事業における成果				5. 事業における課題		
○つばき里山まつりを開催し、にぎわいの創出と地域間交流、町民の林業に対する理解を深めることができた。				○昨年度の課題を踏まえ、茶席や休憩スペースといった滞留場所の設置を行った。		
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○参加者への意見聴取を行い、改善に努め、「全国つばきサミット」の成功に繋げていく。						

担当課評価	B	○イベント自体は概ね成功と考えているが、職員の事務負担が相当なものとなっているため、行政主導から町民主導へとシフトしていく必要がある。
委員評価	B	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	1	しまにしごとをつくり、しまで安心して働けるようにする	
施策名	(ア)	地域を支える産業の競争力強化	
	②	農林業の競争力強化	
	1	生産対策	
事業名	⑬	島の森再生事業【新規】	
担当課名	農林課	所属長名	堤 田 勝
関係課名			

1. 事業の目的						
○森林の適正な整備及び木材の自給率の向上を通して、林業の持続的かつ健全な発展を図り、本町の産業振興及び雇用の創出を目的とする。						
2. 事業の概要				3. 実施内容（取組状況）		
○島の森再生協議会による森林整備の方向性等を協議・決定する。 ○高性能林業機械を導入することで作業の効率化を図り、大規模整備を可能とする。				○平成28年度取組実績 ・島の森再生協議会の開催 ・高性能林業機械の導入及び貸付		
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	26,610千円					26,610千円
4. 事業における成果				5. 事業における課題		
○効率的に大規模な森林整備を推進することで、森林の再生が図られるとともに、作業員の雇用効果が期待できる。				○森林整備を拡大していくための体制は整いつつあるが、作業員の経験不足、担い手そのものが不足しているなどの課題がある。		
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○建設業者等の林業への新規参入を促す。						

担当課評価	B	○森林整備を拡大していくための体制は整いつつあるが、作業員の経験不足、担い手そのものが不足しているなどの課題があり、今後も積極的に事業を継続していく必要がある。
委員評価	B	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	1	しまにしごとをつくり、しまで安心して働けるようにする	
施策名	(ア)	地域を支える産業の競争力強化	
	②	農林業の競争力強化	
	1	生産対策	
事業名	⑭	農産物出荷奨励事業	
担当課名	農林課	所属長名	堤 田 勝
関係課名			

1. 事業の目的						
○共販を目的とする主要作物の出荷に要する経費の一部を助成することにより、出荷農家の生産意欲の向上を図る。						
2. 事業の概要				3. 実施内容（取組状況）		
○主要作物の出荷に要する経費の一部に対し助成 ・ いんげん 20円/kg ・ 青果用つわ 150円/kg ・ 湯がきカンコロ 50円/kg				○平成28年度助成実績 ・ いんげん 183kg 3,666円 ・ 青果用つわ 2858kg 428,760円 ・ 湯がきカンコロ 480kg 24,000円		
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	456千円					456千円
4. 事業における成果				5. 事業における課題		
○出荷農家の生産意欲向上が図られた。				○昨年度と比べ、全体的に出荷量が減少しており、特に湯がきカンコロは昨年度の半量以下となっている。（参考：昨年度の湯がきカンコロは1,100kg） ○湯がきカンコロは年々需要が高まっている主要作物なので、安定した量の出荷が見込めるよう取り組む必要がある。		
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○町内各地域で野菜栽培講習会を開催し、新たな人材を取り込んでいく。その上で主要作物等に興味を持ってもらい、作物の出荷量を増やしていく。						

担当課評価	B	○農業振興に必要な補助金であることから、今後も継続して事業を推進する必要がある。
委員評価	B	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	1	しまにしごとをつくり、しまで安心して働けるようにする	
施策名	(ア)	地域を支える産業の競争力強化	
	②	農林業の競争力強化	
	2	経営・流通・販売対策	
事業名	①	流通対策事業	
担当課名	農林課	所属長名	堤 田 勝
関係課名			

1. 事業の目的						
○家畜市場等へ出荷する流通経費に対して助成を行うことにより、生産者の負担の軽減と購買者の定着等を図る。						
2. 事業の概要				3. 実施内容（取組状況）		
○家畜市場等出荷牛及び死亡牛の輸送に要する運賃及び曳人の旅費の助成				○平成28年度助成実績 ・子牛 34頭 ・成牛 3頭 ・キャトル 8頭 ・死亡牛 0頭 ・家畜農家 9人		
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	214千円					214千円
4. 事業における成果				5. 事業における課題		
○家畜農家出荷経費の負担の軽減が図られた。				○特になし。		
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○関係者の話を聞きながら推進したい。						

担当課評価	B	○畜産振興に必要な補助金であり、今後も継続して事業を推進していく必要がある。
委員評価	B	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	1	しまにしごとをつくり、しまで安心して働けるようにする	
施策名	(ア)	地域を支える産業の競争力強化	
	②	農林業の競争力強化	
	2	経営・流通・販売対策	
事業名	②	子牛価格生産安定特別対策事業	
担当課名	農林課	所属長名	堤 田 勝
関係課名			

1. 事業の目的						
○子牛価格の下落による経営の急激な悪化の緩和、生産意欲の向上を図る。						
2. 事業の概要				3. 実施内容（取組状況）		
○子牛販売価格が雌34万円、去勢42万円を下回った場合、その差額を5万円を限度として助成する。但し、国の補給金が発動された場合はその額を控除する。 ※子牛の発育が良好で1日当り増体量が雌0.9kg、去勢1.0kg以上であること				○補助基準に該当しなかったため、実績はなし。		
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	0千円					0千円
4. 事業における成果				5. 事業における課題		
○実績なしのため、成果なし。				○現在、補助基準より高値で取引されているので該当しないが、将来的にはわからない。		
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○関係者の話を聞きながら推進したい。						

担当課評価	C	○畜産振興に必要な補助金であることから、今後も継続して事業を推進する必要がある。
委員評価	C	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	1	しまにしごとをつくり、しまで安心して働けるようにする	
施策名	(ア)	地域を支える産業の競争力強化	
	②	農林業の競争力強化	
	2	経営・流通・販売対策	
事業名	③	共進会出品助成事業	
担当課名	農林課	所属長名	堤 田 勝
関係課名			

1. 事業の目的						
○共進会等出品への経費を助成することにより、出品牛の促進を図る。						
2. 事業の概要				3. 実施内容（取組状況）		
○共進会等出品への運賃及び出品者の旅費の助成				○出品牛がいなかったため、実績なし。 ○共進会に出品できる子牛の育成に努めるよう畜産農家をお願いした。		
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	0千円					0千円
4. 事業における成果				5. 事業における課題		
○実績なしのため、成果なし。				○共進会に出品する意欲的な畜産農家との連携が課題である。		
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○関係者の話を聞きながら推進したい。						

担当課評価	C	○畜産振興に必要な補助金であることから、今後も継続して事業を推進する必要がある。
委員評価	C	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	1	しまにしごとをつくり、しまで安心して働けるようにする	
施策名	(ア)	地域を支える産業の競争力強化	
	②	農林業の競争力強化	
	2	経営・流通・販売対策	
事業名	④	家畜共済加入奨励事業	
担当課名	農林課		所属長名 堤 田 勝
関係課名			

1. 事業の目的						
○家畜共済掛金の一部を助成することにより、畜産農家の共済制度への加入促進と負担軽減を図る。						
2. 事業の概要				3. 実施内容（取組状況）		
○共済掛金（家畜共済掛金の国庫補助残）の1/3以内を助成。				○平成28年度助成実績 ・家畜共済加入 11戸 214千円		
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	214千円					214千円
4. 事業における成果				5. 事業における課題		
○畜産農家の共済制度への加入促進及び負担軽減が図られた。				○特になし。		
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○関係者の話を聞きながら推進したい。						

担当課評価	B	○畜産振興に必要な補助金であることから、今後も継続して事業を推進する必要がある。
委員評価	B	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。